

法人（事業所）理念		「どんな重い障がいがあっても生まれ育った地域で暮らす」	
支援方針		・子どもと家族が安心できる家庭の雰囲気大切に、温かい言葉かけを行う ・小さな成長や反応を見逃さず、肯定的な関わりで自己肯定感を育む ・日常生活の場面を活かし、遊びや生活行動の中で発達を促す機会をつくる ・子どもの成長と一緒に喜びながら、子育てが安心できるように支えていく	
営業時間		9時から18時	送迎の有無 あり なし
支援内容			
本人支援	健康・生活	・看護師による健康観察、医療的ケアの安全な実施 ・食事場面では、家庭環境に合わせて姿勢の調整・嚥下の安全を確保 ・家庭でできる簡単な調理活動を通した食育 ・生活リズムの形成（排泄・休息・活動のバランス） ・発達段階に応じた生活動作の経験づくり（更衣・移乗・手洗いなど）	
	運動・感覚	・理学療法士等による姿勢作り・可動域維持（家庭環境に合わせて） ・姿勢調整により、自発的な手の動きや探索行動を引き出す ・家庭でできる感覚遊び（触覚・視覚・聴覚・味覚・嗅覚）を通して脳の発達を促す ・ふれあい遊びや体操で身体への気づきを育てる ・成功体験を積み重ね「できた」を育てる	
	認知・行動	・家庭にある物を活用した制作活動で、作って遊ぶ楽しさを知る ・季節の行事や家庭の生活リズムを通して時間の流れを感じる機会づくり ・遊びの中で「選ぶ」「待つ」「切り替える」などの行動形成 ・家庭内でのルール形成（遊びの始まり・終わり・片づけなど）	
	言語 コミュニケーション	・表情・声・身体の動きなど、子どもの表出を丁寧に受け止める ・ジェスチャーや視線、スイッチ、絵カードなど家庭で使えるコミュニケーション手段を育てる ・「伝わった」「わかってもらえた」という経験を積む ・絵本や歌を通して言葉に親しみ心を育む ・家族が日常で使えるコミュニケーション方法を一緒に練習する	
	人間関係・社会性	・安心できる大人（支援者・家族）との継続的な関わりで信頼関係の基盤を形成 ・家族内での関わりを通して社会性の芽を育てる ・きょうだいや小集団活動で「一緒に楽しむ」経験を増やす ・外出支援（散歩・買い物）で世界を広げる	
	家族支援	・家族の希望や困りごとを共有し、必要な支援を提供 ・家庭でできる支援方法（姿勢・遊び・コミュニケーション・医療的ケア）の助言 ・きょうだい支援や家族の休息（レスパイト）につながる情報提供	移行支援
地域支援	・他事業所（訪問サービス・相談支援等）との情報交換 ・地域の医療機関・保育園・学校との連携	職員の	・各種研修会への参加 ・家庭環境に合わせた支援技術の習得
地域連携	・可能な範囲で地域行事への参加支援	資質向上	
主な行事	家庭でできる季節のミニ行事、家庭の物を活用した感覚遊び、散歩や近隣施設への外出支援、家庭内での生活動作支援、家族と一緒に行う共同活動		